

# 第二次霧島市総合計画

基本構想・後期基本計画  
第3期霧島市ふるさと創生総合戦略







## 第二次霧島市総合計画

基本構想・後期基本計画

第3期霧島市ふるさと創生総合戦略



## はじめに

本市は、日本で最初に国立公園に指定された霧島山をはじめとする豊かな自然、多彩な観光資源や天孫降臨神話などの特有の歴史・文化、安全・安心で豊富な食と農、空港や高速道路、鉄道などの広域的な交通網など、多くの魅力や高いポテンシャルを有しています。



先人たちが大切に築き上げてきたこのまちを、さらに発展させ、次世代に引き継ぐために、平成30(2018)年に「人にやさしく 人をはぐくむ 一人ひとりが輝きにぎわう 多機能都市」を将来像として掲げる「第二次霧島市総合計画」を策定し、本市の強みに目を向け、新しい視点を示しながらまちづくりを進めてまいりました。

この間、激甚化・頻発化する自然災害等や新型コロナウイルス感染症の拡大、人口減少・少子高齢化の進行、デジタル化の進展など、私たちの暮らしを取り巻く社会環境は大きく変化してきています。

このような状況を踏まえ、新たな時代の潮流に的確かつ柔軟に対応しつつ、地方創生の実現を図りながら、県央中核都市として将来に向けて持続的に発展できるよう、令和5(2023)年度から令和9(2027)年度までの5年間を計画期間とする「後期基本計画」を策定しました。

本計画を基に、今後も引き続き市民の皆さまと共に考え、共有し、行動する「協働と連携のまちづくり」を推進し、掲げた将来像の実現に向けて全力を挙げて取り組んでまいりますので、皆さまの一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

最後に、本計画の策定に当たり、貴重なご意見やご提言をいただきました総合計画審議会やふるさと創生有識者会議の皆さま、ワークショップや市民アンケートなどを通じてご協力いただきました市民の皆さま、関係各位に対しまして、心から感謝申し上げます。

令和5年3月

霧島市長 中重真一

# 第二次霧島市総合計画 目次

はじめに	1		
<b>第1章 総合計画策定の趣旨（序論）</b>	<b>7～14</b>		
1 計画策定の趣旨	7		
2 計画の位置付け	7		
3 計画策定の方針	7		
4 計画の構成と期間	8		
5 本市を取り巻く社会環境の変化	9		
6 本市の概況	11		
7 SDGs（持続可能な開発目標）	13		
<b>第2章 基本構想</b>	<b>17～22</b>		
1 基本理念	17		
2 将来像	18		
3 基本方針（政策）	19		
4 目標人口	22		
<b>第3章 後期基本計画</b>	<b>25～122</b>		
施策体系図	25		
基本計画の見方	27		
後期基本計画			
政策1 にぎわい	29	政策1 にぎわい	産業の活力があふれ、交流と賑わいが生まれるまちづくり 29～44
政策2 暮らし	45	政策2 暮らし	みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり 45～60
政策3 やさしさ	61	政策3 やさしさ	誰もが支えあいながら生き生きと暮らせるまちづくり 61～76
政策4 はぐくみ	77	政策4 はぐくみ	社会を生き抜く力と生涯を通じて学びあう力を育むまちづくり 77～88
政策5 きょうどう	89	政策5 きょうどう	市民とつくる協働と連携のまちづくり 89～100
政策6 しんらい	101	政策6 しんらい	信頼される行政経営によるまちづくり 101～108
第3期霧島市ふるさと創生総合戦略 ～KIRISHIMAみらいプロジェクト～	109		
基本目標1 訪れたいまち	110		
基本目標2 住み続けたいまち	111		
基本目標3 働きたいまち	115		
KPI（重要業績評価指標）一覧	117		
<b>資料編</b>	<b>125～146</b>		
※策定体制・経過、用語解説（対象語は文中に「※」を表示）などを収録。			